



工芸品の存続・発展に寄与しようと始めた仏語圏向けECサイトも昨年フランスとのネットワークを拡充。日仏友好160周年を迎えた今年は産地へのツーリズムにつながる取り組みにも力を入れる。

この3年、社員個々の成長を促すとともに多様な価値観を共有し合える組織づくりを進めてきたABC。昨年から新人事制度をスタートさせ、専門スキルを持つ社員が分社する際のスキームも構築する。古川社長は「現中計で、より対応能力の高い企業集団に進化させ、真に九州・福岡に貢献していきたい」と、さらに次の仕掛けを準備する。

企業 DATA

所在地/〒812-0011
福岡市博多区博多駅前2-2-1
福岡センタービル5階
TEL/092-436-4141
FAX/092-436-4143
設立/2001年6月
資本金/8,300万円
事業内容/経営管理制度の構築、業務プロセスの再構築・業務改善、人事評価制度構築のコンサルティング、システム化計画の立案などの上流工程を中心としたサービスの提供
従業員/22人(グループ、18年3月末現在)
関連会社/朝日ビジネスマーケティング(株)、朝日ビジネスシステム(株)他
URL/http://asahibc.co.jp/

採用情報

募集職種/経営コンサルタント
応募資格/20~30代歓迎。変革を実現する意欲、知的好奇心・向上心の高い方、会計・経営管理業務の経験があり、コンサルティングに興味のある方
採用実績/2017年度 中途4人
採用予定/2018年度 中途6人
問合せ先/TEL.092-436-4141
担当/人事・採用マネジャー 服部

領域拡大を図ってきた。その1つが12年に教育事業部を新設し参入した人材育成事業だ。当時、事業再生を多数手がける中、古川社長は「クライアントが環境変化に対応し変革し続けるには、基礎体力=人材の底上げが不可欠」と、“自ら考え行動する人材”の育成に着手。現中計では、経営幹部候補向けや新規事業創造型の企業内研修といったコンサルの要素を色濃く持った独自の人材育成プロジェクトが大きく動き出している。

また、17年度には企業にとって日常的な活動である販売領域において、「APS (アライアンス・パートナー・サービス)」と名付ける新たなサービスも開始した。このAPSでは、独自のアプローチで販売を促進する仕掛けを構築すると共に、ABCらしさである「実行まで着実に支援」を行う。すでに担当者の増強を行うほど相談件数が多い状況にあるため、18年度はさらに実績を重ね、新たなサービスの柱に育成する方針だ。

より対応能力の高い企業集団へ

一方、グループ会社もABCならではのコンサル的な要素を取り入れた展開で業容を拡大している。朝日ビジネスシステム(株)(ABS)は、通信販売の現場に入り込み改善を重ねた通販システムが売上高10億円規模の企業を中心に全国に販路を拡大している。再建を託され子会社化した大和スポーツ用品(株)(佐賀県鳥栖市)も運営するゴルフ店に昨年インドア練習場やカフェを設けるとともに、スクールも開校し、順調に業績を回復させている。また、朝日ビジネスマーケティング(株)(ABM)が日本の伝統

最短で最大の効果発揮できる体制へ

大手監査法人を源流とし、地元で根差して現場主義を貫くからこそ立案できるテラーメイドの解決策やコンサル現場での姿勢が、地場経営者から高い評価を受けてきた朝日ビジネスコンサルティング(株)(以下ABC)。2016年度からの現中期計画では、第2次中計の「あらゆるニーズに応える体制づくり」を踏襲しつつ、サービスラインの洗練化と共にコンサル機能の強化を掲げ、「最短で最大の効果を発揮できる体制」の構築を目指している。

中計2年目の17年度は16年度に掲げた「スピード」を保ちつつ、より「丁寧に」をテーマに事業を進めてきた。古川社長は「世界情勢の先行きが見通しにくくなる中、企業経営においてもこれまでの常識が通用しないケースが増えている」とその理由を明かす。企業間競争が激化する現在、ABCでは成長戦略立案の中でも業務改革や次期基盤強化のシステム導入、M&Aを含めた投資案件の意思決定支援などの依頼が増えており、これまでの手法が通用しない案件に対して、ABCならではの迅速かつ細かな対応や説明で、クライアントと共にその企業が持つ有形無形の資産や強み、文化を生かした“個別解”を導いていくというのだ。

人材育成に続きAPS事業を開始

リーマン・ショックという劇的な環境変化を経験し、第2次中計では多様なニーズにスピーディに応えるため、高度な専門スキルを有する子会社や事業部の新設によるサービス

スピードに丁寧さをプラスし
“成果”を確実に残す



古川 武史 社長

ふるかわ・たけふみ/福岡市東区出身。1973年4月3日生まれ45歳。筑波大学第一学群自然科学類(化学専攻)卒。外資系製薬会社に約4年間在籍後、2000年8月朝日監査法人(現あずさ監査法人)入所。01年6月朝日ビジネスコンサルティング(株)として分社化後、03年12月取締役役に就任。06年5月社長に昇格。現在「九州・アジア経営塾」のプログラムアドバイザーも務める。趣味は野球、ゴルフ、スキューバダイビング

朝日ビジネスコンサルティング(株)

九州の経済や企業風土を熟知し、経営変革を目指す地場企業に高品質なサービスを提供してきた朝日ビジネスコンサルティング(株)。2016年度からの第3次中期5カ年計画では「最短で最大の効果を発揮できる体制」を目指し、スピードに丁寧さをプラスするとともに、“結果を出す”新サービスも開始した。